



楽しく歩けるイベント「太陽系ウォーク」

議員 遠野市では、公民館等を保健師等が巡回して、簡単な健康チェックを毎週行うことで、市民の健康の維持・向上に役立っている。三鷹市においても、地区公会堂等を利用した簡易健康診断を実施してはどうか。

市長 健康づくりも歩くことも自己管理の一環だ。市としての役割を吟味しながら、市民の主体的な取り組みを支援していきたい。

議員 高齢化率のピークとなる時期は苦しい財政状況が予想される。健康の分野で、その時期に向けてどのように準備を進めていくか認識を伺う。

民主党 岩見 大二 議員

2025年問題に備え 協働で支え合う体制づくりを



議員 団塊の世代が75歳以上になり、要介護認定者数と介護・医療費の急増が予測される「2025年問題」への基本的認識を伺う。

市長 介護保険料額と市の負担額の上昇が財政的課題であり、市民・介護事業者、関係機関等と連携し、地域の実情に合った事業計画の策定に努めていきたい。

議員 三鷹駅から来訪する観光客への「おもてなし」は、みたか都市観光協会が請け負っている。外国人観光客への対応は、三鷹国際交流協会も協力してはどうか。現状と課題を伺う。

行政と市民が協働し 「おもてなし」の取り組みを



民主党 石原 恒 議員

議員 東京五輪に向けて、小学校で英語教育の強化に取り組み考えが示された。「おもてなし」の心と学校の英語教育の強化との関係について所見を伺う。

市長 見守りネットワークの協定を締結し、市民、民生・児童委員、地域包括支援センター等とともに高齢入居者の安否確認や情報交換に取り組んでいる。

議員 入札予定価格に国の労働単価を積算するならば、労働者は同額の賃金を受け取るべきだ。実態を調査し、問題があれば制度改革に取り組みすべきでないか。

社会保障制度改革が及ぼす 市民と市財政への影響を問う



日本共産党 大城 美幸 議員

議員 社会保障制度改革に関するプログラム法案は、根拠となっている社会保障制度改革推進法で公費の投入を抑制して、負担増と給付の削減が方向づけられ、それを追認した内容となっている。これは、憲法第25条から大きく逸脱したものと考えるが、所見を伺う。

市長 プログラム法案の実施には、別途関連法の改正が必要であり、今現在具体的なことが明確に示されていない。迅速な情報の収集と東京都市長会等を通じて自治体の声を届けなければいけないと考えている。

議員 介護保険制度においては、要支援1、2の認定者が保険給付から外されようとしている。対応を聞く。

市長 国のガイドラインに基づき、次年度策定予定の対象案件を拡大するなど公的な入札や、市内事業者の優遇策に取り組んでいる。今年度は公共工事の設計労働単価が平均15・1%の大幅増となったが、それを積算した価格設定で応札する事業者の確保に努めた。

市内経済循環型政策で 商工業の存続・振興を



日本共産党 岩田 康男 議員

議員 市内の老舗のスーパ―や豆腐店等が相次いで閉店した。商工業とも収益の減少と仕入れ額高騰という二重の困難を抱えている。現状について認識を伺う。

市長 円安の恩恵が市内の中小事業者にも行き渡るには、もう少し時間がかかる状況と認識している。

議員 観光振興に関する資源基礎調査の結果を踏まえ、商業振興にはみたか都市観光協会や三鷹の森ジブリ美術館等も含めた協働の取り組みが必要と考える。

第一副市長 現在、三鷹の土産品を作るなど個店とともに商店会や観光協会等も取り組んでおり、引き続き努力を続けていきたい。

公共施設の更新・維持保全の 合意形成のあり方を問う



にし色のつばさ 野村 羊子 議員

議員 公共施設維持・保全計画2022では、今ある施設を大切に使うことを基本にして、予防保全に努めるとあるが、それだけで本当に維持・保全・更新の需要に対応できるのか。

市長 計画は公表しており、これまでの取り組みの推進と拡充を図ることが重要と考える。

議員 市民との合意形成をどう図っていくのか伺う。

市長 市政窓口等に冊子を置くなど周知を図っている。今後計画の見直しを